

令和4年度牧之原市議会 議会報告会における質問事項への回答

細江コミュニティセンター（令和4年10月24日）

○議会報告会について

ご質問	議会からの回答
決算報告は市長の仕事ではないか。	<p>議会報告会は、要綱において「予算又は決算の審議に関すること」を報告することを定めています。</p> <p>予算の議決や決算の認定は、二元代表制としての議会の重要な役割の一つであり、住民の皆様への負担にかかわる事項であることから、最終決定する議会が責任を持つべきものと考え、議会報告会では、市の決算額全体の概要をお示しした上で、決算連合審査会における議員の質疑及び市の答弁のやり取りを報告させていただきました。</p>
提言した内容を細かく報告してほしかった。 決算は広報等に掲載されるので必要ない。 議会報告会ならワークショップは いらぬ、趣旨が違ふ。	<p>今回の報告会は、3年ぶりに対面で開催させていただきましたので、本来の議会活動報告に加え、第2部の意見交換では、市民の皆さんの声を聞かせていただくためワークショップ形式とさせていただきました。</p> <p>夜間の限られた時間であり、市民の皆様との意見交換を充実させるため、今回は、ワークショップの時間を重点的に配分させていただきましたが、今後の議会報告会の内容や進め方につきましては、議会内で協議していきたいと考えています。</p> <p>なお、議会からの政策提言は、市議会ホームページに提言書の写しを掲載しておりますので、是非、ご覧いただきご意見をお寄せいただければと思います。</p> <p>※掲載場所 ・「牧之原市議会ホームページ」＝「議会メニュー 議会改革」＝「議会からの提言」＝「持続可能なまちづくりについて（令和4年）」</p>

<p>9月以降の市の生活環境は、コロナ禍の苦しい状況をどのように考えているのか。議会報告はかけ離れている。</p>	<p>議会報告会は、要綱において「議会の活動に関すること」「予算又は決算の審議に関すること」を報告することを定めていますので、議会報告会では、決算連合審査会における議員の質疑及び市とのやり取り、総務建設・文教厚生両常任委員会の活動を報告させていただきました。また、3年ぶりの対面での開催であったため、市民の皆様とワークショップを行い、貴重なご意見をお伺いすることができました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の終息が依然として見えない中、市内経済は大きな影響を受けており、市民の皆様のご生活も大変苦しい状況であると認識しております。議会としては、市のコロナ対策や経済支援などにより、市民及び事業者の皆様へ必要な支援が行われているかを常にチェックしているところですが、今後も必要に応じて市へ提言、要望などを挙げていきたいと考えています。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・年に数回はどうか。 ・もっと親近感がもてるような工夫や市議会議員との交流があったらよい。 ・もっと各議員が地区に出て市民の意見を汲み取ってもらいたい。 	<p>議会報告会は、要綱において「年1回以上とし、開催時期はおおむね当初予算成立後又は決算認定後3箇月以内とする」と定めていますので、今回は、決算成立後（9月末）の10月下旬に開催しました。</p> <p>市議会としては、多くの市民の皆様との意見交換の時間も大変貴重な機会であると考え、1部で議会活動報告、2部でワークショップ形式での意見交換を開催させていただきました。しかし、限られた時間の中、会場での質問をお受けすることができず、また、意見交換の時間も十分に確保することができませんでした。</p> <p>したがって、多くの市民の皆様が参加しやすい曜日や時間、内容など、今後の議会報告会や市民の皆様との交流のあり方などについて、議会内で協議を進めていきたいと考えております。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・開催時間の工夫で、女性や子育て世代がもっと参加できるようにしたほうがよい。 	<p>ご指摘のとおり、女性や子育て世代、将来の牧之原市を担う若者世代の参加者が少ないことは、大きな課題であると認識しています。</p> <p>過去には、土曜日に開催したこともありましたが、期待した若い世代の参加者が見</p>

<p>・若い世代の参加が増えてくれると嬉しい。</p>	<p>られず、参加者の高齢化、固定化の解消には至りませんでした。今後は、女性や子育て世代、若い世代の皆さんが参加したいと思えるような報告会を企画できるよう、議会内で協議を行っていきます。</p>
<p>ワークショップ形式で面白かった。</p>	<p>議会報告会の市民の皆さんとの意見交換会で、議員全員がテーブルに入って行うワークショップは初めての取り組みとなります。</p> <p>ワークショップ形式での意見交換会であれば、参加した方全員が意見を述べることができ、楽しい話し合いができます。お互いの意見を聴き、それらの意見を尊重しながら集約していくことで、当事者意識も生まれてきます。</p> <p>また、テーブル内だけではなく、会場全体で意見を共有していくことで、一体感が生まれ参加者同士のコミュニケーションが図られるといった利点があります。</p> <p>アンケート結果から、概ね参加いただいた皆さんから高評価を受けており、議員と市民の皆さんとの対話の場として、今後も定着させていきたいと考えております。</p> <p>しかし、かなりタイトスケジュールであり、もう少しゆっくりテーブル内での話し合いができるようにするなど、いくつかの改善点があるので、議会報告会全体の構成や開催時間について、今後、議会内で協議を進めていきたいと考えております。</p>
<p>行政に対して提案する慣例を作ったらどうか。</p>	<p>総務建設・文教厚生両常任委員会では、テーマを設けて調査研究を行っています。調査結果を1年又は2年ごとに取りまとめ、市議会から政策提言書として市長へ提出しています。</p> <p>これまで、議会から多くの提言を行ってきましたが、提言を基礎として「デマンド乗合タクシー」が導入されたほか、「牧之原市歯や口の健康づくり条例」及び「牧之原市中小企業・小規模企業振興基本条例」が制定されるなど、提言の内容が着実に市政に反映されているものと考えています。</p> <p>今後も、市民の皆様の多くの声を聞き、市民の代表として市に対して積極的な政策</p>

	<p>提言を行っていきたいと考えています。</p> <p>なお、議会からの政策提言は、市議会ホームページに提言書の写しを掲載しておりますので、是非、ご覧いただきご意見をお寄せいただければと思います。</p> <p>※掲載場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「牧之原市議会ホームページ」＝「議会メニュー 議会改革」＝「議会からの提言」
--	--

○決算審査報告について

ご質問	議会からの回答
<p>依存財源を上げるにはどうすればいいか。</p>	<p>市町村の財源は、「自主財源」と「依存財源」に分類されます。「自主財源」とは、市町村が市町村税を賦課徴収するといった自らの権限で収入することができる財源をいい、「依存財源」とは、国や都道府県から交付・割り当てられる収入をいいます。依存財源の主なものとしては、国庫支出金（補助金）、地方交付税などがあります。</p> <p>したがって、「自主財源」が多いほど、行政の自主性と安定性が確保されることとなりますが、令和3年度の一般会計の決算の構成比率は、自主財源が40.8%、依存財源が59.2%となっていることから、いかに自主財源を確保・強化していくかが本市における大きな課題の一つとなっていると考えています。</p> <p>ご質問の「依存財源を上げる」ために考えられることとしては、地方交付税の算定基礎となっている人口を増やすことで国からの交付税額を増やす、公共事業を実施する際に国や県への要望活動を行うことで補助金が交付されやすくなる、などが考えられます。</p>

○文教厚生委員会活動報告について

ご質問	議会からの回答
<p>高齢者フレイル問題は理解しますが、今問題となりそうなのが、子供のフレイル化が問題になってくると思うが。</p>	<p>子どものフレイルにつきましては、コロナ禍において体を使った遊びや運動の機会が減ったことによる体力低下とともに、人とつながる機会が減少したことによる引きこもり（社会的フレイル）やうつ（心理的フレイル）が考えられます。</p> <p>当市においては、成人期の高血圧、糖尿病予備群が多く、それらが心身の機能低下に影響を及ぼしていることが課題であるため、様々な対策を実施しています。しかし、長年の生活習慣を改善することは難しいことから、子どもの頃から生活習慣病についての正しい知識や行動を得ることが大切だと考えます。</p> <p>これまでも、学校では小学4年生、中学2年生を対象に、生活習慣病予防検診を実施しており、指導が必要な場合は養護教諭が対応しているほか、授業においても生活習慣病についてのカリキュラムを設けています。</p> <p>また、令和4年度については、生活習慣病予防教育の充実を図るため、学校と連携しながら保健師による生活習慣病についての授業を4校にて実施する予定です。</p> <p>※フレイルとは</p> <p>加齢とともに心身が機能低下した状態で、進行することで要介護状態につながっていきませんが、早めに気づいて適切に対応すれば回復も可能な状態のことを表しています。</p>
<p>意見交換の相手は誰か。</p>	<p>「子育て中の保護者との市民会議」については、令和4年6月27日に、子どもが市内の保育園や幼稚園（静波保育園、細江保育園、川崎幼稚園）に通う保護者の方々をお招きし、意見交換を行いました。</p>
<p>須々木区支え合い生活支援事業の支援する人は、登録しているのか？</p>	<p>「須々木区支え合い生活支援事業」については、須々木区にお住まいの4名の方（区長及び民生委員経験者）が、「無理はしない！自分達の出来る範囲で！」を理念</p>

<p>どなたが（グループ？会社？市？）がやっているのですか？ これから地区を増やしていくのですか？</p>	<p>として立ち上げた事業です（市から補助金等は受けていません）。活動内容としては、須々木区に住む移動が難しい70歳以上の方を対象に、10分100円のチケット制で簡単な生活支援を行うもので、回覧板で全戸周知したところ、当初は7名ほどから申請があったということです（現在の利用者は16名程度）。</p> <p>他地区への波及については、この事業に関わっている社会福祉協議会に確認したところ、「現在は働きかけをしていない」という状況となっています。</p> <p>【参考：これまでの経緯】</p> <p>平成27年頃に「生活体制整備事業」がスタートした。当時、「困りごとを解決する」「移動の解決をする」「居場所を増やす」という3つの協議体の中で取り組んでいて、その3つの課題をもって榛原地区と相良地区に分かれて何年間か話し合いを進めてきた。その中で、須々木地区に特化してこの事業を進めていこうとなり、現在に至っている。なお、社会福祉協議会の生活支援コーディネーターという立場の方が、この須々木地区の活動に関わっている。</p>
---	--

○ワークショップ（人口増加に繋がる魅力ある子育て施策）について

ご質問	議会からの回答
<p>牧之原市の魅力とは。議員が考える魅力とは。</p>	<p>本市は、海・山・川それぞれの豊かな自然と歴史文化に彩られた魅力あるまちであると考えています。</p> <p>市民の皆様と同じように、これら自然や歴史文化は、私たちの誇りであり、未来に伝え、残していくべき「宝」であると考えています。</p> <p>議会として、「本市の魅力は何か」を定義付けることはしていませんが、16人の議員それぞれが、個々に感じている・考えている魅力を議員活動の中で、市民の皆様へ伝えていくことができると考えています。</p>

<p>子育て施策を推進するにも税収には限度があるため、まずはインバウンド(市外の方にお金を落とす)を進めたらどうか。</p>	<p>税収を増加させるには、人口の増加と企業誘致が効果的ではないかと考えますが、人口減少時代の中、人口を増加させていくことや多くの企業誘致を進めることは大変難しい問題です。</p> <p>そこで、ご指摘のとおり、市外から人を呼び込み、市内の商店などにお金が落ちる仕組みを考えることは即効性があり、効果的な手法の一つであると考えられることから、静波海岸にオープンしたウェイブプールや市内に点在する観光地へどのように人を呼び込み、いかに滞在してもらうかを考えていく必要があると考えます。</p> <p>総務建設委員会の活動報告でもお伝えしましたが、本年9月、議会から市長へ、「海岸等を活用した通年型の観光戦略について」、「中小企業向け工業団地の造成について」といった8項目の提言を行いました。</p> <p>市では、市内経済の活性化や観光まちづくりに向けた様々な施策に取り組んでいるところでありますが、市議会としても魅力あるまちづくり、持続可能なまちづくりのため、市へ様々な政策提言を行っています。今後も調査研究を進め、観光や経済の活性化が図られるよう、市に対して積極的に提言していきたいと考えています。</p> <p>なお、議会からの政策提言の詳細は、「牧之原市議会ホームページ」＝「議会メニュー 議会改革」＝「議会からの提言」＝「持続可能なまちづくりについて(令和4年)」に掲載していますので、ご覧ください。</p>
<p>今、お子さんが1人2人の世帯に、2人目3人目を考えてもらうように、助成金なり補助を考えてほしい。</p>	<p>当市においては、妊婦や産婦の通院等に要する費用の一部を助成する「妊産婦通院等支援助成金」、令和5年4月1日までに生まれた新生児1人につき10万円を支給する「子育て応援特別給付金」など、出産いただいた人数に関係なく助成(補助)を行う制度はありますが、御指摘のとおり、複数の子どもを出産いただいた際に特別に支給する助成金(補助金)は現在のところありません。</p> <p>確かに、上記のような助成金(補助金)を創設することで、子育て世帯の経済的負</p>

	<p>担が軽減され、2人目、3人目以降の出産を少しでも前向きに捉えていただくきっかけになることも考えられます。この施策に限らず、市議会としても、「牧之原市に住みたい」「牧之原市で子育てをしたい」と思う方が増えるような取組について、調査・研究を続けてまいります。</p>
--	--

○議会だよりについて

ご質問	議会からの回答
<p>議会だよりは、もっと詳しく。</p>	<p>牧之原市議会だより「かけはし」につきましては、議員6名で組織する議会広報特別委員会にて編集作業を行い、年4回発行しています。</p> <p>ページ構成につきましては、一般質問のページについては必ず質問者1人につき1ページ確保することとし、それ以外の内容については本会議等での質疑内容や日々の議会活動の中から、議会広報特別委員会においてどの内容を掲載すべきか協議し、決定しています。</p> <p>また、文字だけになってしまうと手に取っていただきにくくなる可能性があることから、写真やイラストを入れるとともに、空白部分も確保するようにしています。</p> <p>御指摘のとおり、本会議等で行われた質疑や一般質問につきましては、全てのやり取りについて詳しく掲載したいところではありますが、上述のとおり、手に取っていただきやすさ、ページ数などを考慮いたしました結果、ある程度内容を絞った形での掲載とさせていただいているところであります。</p> <p>限られたページ数ではありますが、今後も、市民の皆様にとって分かりやすく、そして気軽に手に取っていただける紙面となりますよう、努力してまいります。</p>

○相良牧之原インターチェンジ北側開発について

ご質問	議会からの回答
<p>高台開発は何が出来るのか。</p>	<p>市では、現在、相良牧之原インターチェンジ北側地区におきまして、牧之原市 I C 北側土地区画整理準備組合と共に、土地区画整理事業の施行を通じた新たな拠点づくりに取り組んでいます。</p> <p>施行地区内には、商業・産業施設用地、住宅用地、公園等を配置する計画としており、設置される商業施設や産業施設等の検討、誘致につきましては、業務代行予定者の大和ハウス工業株式会社を中心となって取り組んでいます。昨年3月に開催された準備組合全体説明会では、現時点での施設イメージとして、3階建ての商業施設、2階建ての物流施設2棟を想定しているとの考えが示されました。</p> <p>市では、今後、賑わいの創出、雇用の場の確保、移住・定住者の拡大等を図りながら、快適で多くの人々が交流する地域づくりや、防災・減災に対応したまちづくりの実現などを目指していくとのことです。</p>
<p>平成 30 年度に着工予定だったが、本来の着工はいつなのか。</p>	<p>牧之原市 I C 北側土地区画整理準備組合では、9月18日の第5回総会開催後、県知事に対しまして、土地区画整理組合の設立認可申請書を提出し、順調に進んだ場合には、年内に認可を取得できる見込みとしています。</p> <p>認可後に第1回総会を開催し、その後、仮換地の指定、補償契約の締結や農地転用許可を得て、来年春頃の工事着手を目指しています。</p> <p>道路や公園等の公共施設、商業施設や産業施設等につきましては、今後、土地区画整理組合、進出企業や関係機関等と協議、検討を行い、完成時期等を決定していくこととなりますが、主要な施設の開業につきましては、現時点では令和8年頃を見込んでいます。</p>

<p>費用は、概算でどのような金額になっているのか。</p>	<p>土地区画整理事業を計画し、組合設立に向けて必要な準備を行っている牧之原市 I C 北側土地区画整理準備組合に対しては、市が牧之原市土地区画整理事業助成要綱に基づき、令和 2 年度及び 3 年度におきまして、約 2 億円ずつを交付しています。</p> <p>準備組合は、土地区画整理組合の設立認可に向けた調査、設計、事業計画の策定等を実施し、県知事に対して認可申請を行っております。</p>
--------------------------------	---

○学校再編計画について

ご質問	議会からの回答
<p>市議一人一人の小中一貫についての考え方を聞きたい。市議の横のつながりでなく個人の意見を聞きたい。</p>	<p>議会報告会においては、要綱により、「議員個々の見解を述べるものとはしない」と定めていますので、議会として合意形成された見解のみを報告・回答することとしています。したがって、議会報告会の場では、市議会議員個人の意見や考えについてお答えしていません。</p> <p>議員個々の考えなどをお聞きしたいときは、それぞれの議員の議員活動の中でお聞きくださるようお願いいたします。</p>
<p>3 月 14 日に提出した「学校再編に関する要望書」について</p> <p>問 1 提出した理由（主旨含む）は</p> <p>問 2 主旨に対する議会の役割の進捗状況は</p> <p>問 3 今後の議会としての姿勢は</p>	<p>問 1 市長及び教育長への議会からの要望書は、令和 4 年 3 月 24 日に提出しています。</p> <p>学校再編は、望ましい教育のあり方の実現のほか、少子化や公共施設の適正化といった本市の諸課題の解決を図るための施策であります。学校が地域において果たしている役割は大変重要であります。</p> <p>今後、具体的な学校の位置や規模等が議論されていくこととなりますが、要望書では、「市民への丁寧な説明や議会との議論を深める」「市全体のまちづくりを念頭に、より良い教育環境の整備と特徴ある学校づくり」が図られるとともに、「牧之原市菊川市学校組合についても協議を継続」していく必要があるとして</p>

	<p>います。</p> <p>本計画は、新たな学校づくりの計画や、既存施設の利活用を含めた牧之原市のまちづくりにもつながっていくことから、市民の皆様への情報提供を行うとともに、市民の皆様や議会との議論を重ねてもらうことを求めているものです。</p> <p>問2 市当局からは、所管委員会（協議会）において、随時、計画の進捗や取組状況の説明がありますので、議会としては、要望書の趣旨を尊重した取組みが図られているかどうかについて、適宜、意見を述べるとともに、疑問などをぶつけることで、まちづくり、学校再編がよりよい方向に進んでいけるよう議会としての役割を果たしているところです。</p> <p>今後も、必要に応じて説明を求め、要望書の思いを汲み取った計画やまちづくりが進められているか、議会として一体となった取組みを進めていきたいと考えています。</p> <p>問3 議会は、市当局が市民の意思を反映した行政を行っているかどうかを監視するといった役割を有していることから、要望書の思いを汲み取った新しい学校づくりが進められているか、市民の皆様の声を聞いているか、市民の皆様の声が反映された計画づくりを行っているか、などについて、所管委員会である文教厚生委員会を中心とした議会全体で議論し、必要に応じて意思表示していきたいと考えています。</p>
<p>過疎化の対策として、新規住民の固定化と誘致 新たに住宅の取得を考える人の条件は、スーパーがある、保育園・小学校がある、医院が近くにあること</p>	<p>学校再編計画においては、2030年度の開校を目標に新しく義務教育学校を設置する予定であり、施設の老朽化や児童生徒の減少だけでなく、子どもたちにとって望ましい教育環境を整備することを目的としています。</p> <p>細江小学校は、10年前に比べて児童が100人ほど減っており、今後も緩やかに減っていくことが予測されています。</p>

<p>なので、細江小学校は廃止予定ではなく存続検討に変えてほしい。 吉田町は平坦な土地が多いので、「細江に住んで吉田町に職場がある」という人達が増えるといいなと思います。今から対応して結果が出るのは、5～10年度。再度その時に小中一本化か細江小が存続できるか判断してもいいのではないかな。</p>	<p>学校再編には、10年から15年の期間が必要となり、学校の整備には、これまでの約5年間の検討に加え、今後も7～8年程度の期間を要することから、本計画での開校目標は2030年度となっております。</p> <p>ご提案いただいた「5年～10年後、再度その時に判断すればどうか」につきましては、市では、「5年から10年後に判断を遅らせることで、施設の老朽化による教育環境の悪化や変化の激しいこれからの時代に適した新しい魅力ある教育が整わないことになるため、これからの未来の子どもたちにとって、好ましい状況にはならないと考えます。したがって、計画どおり、学校再編を進め、魅力ある教育や学校施設を整備することにより、この学校に通わせたい、このまちに住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを推進していきたいと思っております」とのことです。</p>
--	--

○榛原総合病院について

ご質問	議会からの回答
<p>榛原病院に消化器外科が一人では。</p>	<p>医師の確保、診療体制の充実については、都市部への偏在が続いており、依然として大変厳しい状況であります。指定管理者である徳洲会による継続した医師対策が実を結び、循環器系や心臓センターの充実が図られてきています。</p> <p>また、志太榛原地域医療構想調整会議における周辺市町（島田市、焼津市、藤枝市、吉田町、川根本町及び牧之原市）との補完体制も構築されており、榛原病院の専門である回復期リハビリテーションも充実してきています。</p> <p>今後も、地域医療体制の充実が図られ、市民の皆様が安心して生活することができるよう議会としての役割を果たしていきます。</p>
<p>榛原病院の充実</p>	<p>榛原総合病院は、平成22年から指定管理者である医療法人徳洲会に運営をお願いしていますが、常勤医師を確保できている診療科は限られており、静岡県における医</p>

	<p>師数についても全国で 40 位と、県自体に医師が少ないという現状があります。</p> <p>そのような状況の中にあっても、榛原総合病院では、高齢者が多い当地域に必要な総合内科、整形外科や、緊急時に一刻を争う心臓血管外科、循環器内科などは常勤医師を確保しており、救急医療ニーズに応えるため取り組んでいます。</p> <p>志太榛原圏域の他の 3 つの総合病院においても、全ての診療科で常勤医師を確保することは非常に難しく、小児科・産婦人科は主に焼津市立総合病院が、がん等の高度医療は藤枝市立総合病院が、脳血管疾患や感染症については島田市立総合医療センターと、それぞれの持つ能力を最大限生かして、救急患者の受入れ体制を確保しています。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症への対応としては、県内で最初にドライブスルー方式の PCR 等の検査体制を確立し、陽性者の早期発見につながったほか、軽症者の入院にもいち早く対応し、医療圏域の中で最も多くの患者を受け入れ、圏域の医療体制に大きく貢献しました。現在は抗体カクテル療法を導入し、重症化を防ぐ治療を行っています。</p>
--	---

○子ども通学路の安全について

ご質問	議会からの回答
<p>子供の通学路の交通の安全が確保されていないと感じている(和田の坂・百所・黒子と女神の堺の橋)。市としてどのように対応してくれるのか。教育委員会・島田土木事務所にも連絡した。</p>	<p>市当局に確認したところ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「百所」が市道大江男神線となりますが、今後学校再編が計画されており、学校的位置が変更になれば通学路や通学方法についても変更となることが考えられることから、校地が決定された後検討していく。 ・「和田の坂」と「黒子と女神の堺の橋」については、国道 473 号であると思われるので、管理者である静岡県島田土木事務所に要望があったことをお伝えする。

との回答をいただいております。

現在、学校再編計画に基づき校地選定等が行われている状況ではありますが、現在の通学路においても、危険を感じる箇所がありました際には随時市当局へ検討等を促してまいります。

史料館（令和4年10月27日）

○議会報告会について

ご質問	議会からの回答
全てかけ足だった。もっとゆっくり報告を聞きたい。	<p>今回の報告会は、3年ぶりに対面で開催させていただきましたので、本来の議会活動報告に加え、第2部の意見交換では、市民の皆さんの声を聞かせていただくためワークショップ形式とさせていただきました。</p> <p>夜間の限られた時間であり、市民の皆様との意見交換を充実させるため、今回は、ワークショップの時間を重点的に配分させていただきましたが、今後の議会報告会の内容や進め方につきましては、今後、議会内で協議していきたいと考えています。</p>

○決算審査報告について

ご質問	議会からの回答
次期繰出し金はあるのですか。	<p>繰出金とは、「一般会計と特別会計、特別会計間の予算の相互充用の方法である」とされており、特別会計の歳入の不足を補うために、一般会計から相当額を繰り出すこと等を指すものです。</p> <p>本市には6つの特別会計がありますが、令和3年度決算において一般会計から特別会計への繰出金はありませんでした。</p>
市の財政が平均20%アップした具体的な理由は。	<p>議会報告会では、「市の財政が20%アップ」ではなく、「ロシアのウクライナ侵攻から石油や原材料の高騰により、電気代やガソリン代、食糧費が高騰し、平均で20%ほど価格が上昇している」との報告を行いました。</p> <p>これは、市民の皆様が影響を受けると考えられる主要な品目が、いずれも2021年初頭より、ガソリンが121%、電気代が110%～120%、食品関連で115%～125%（外</p>

	食6割値上げ中) 値上げされている状況から、「平均で20%ほど価格が上昇している」ということを説明させていただきました。
市債218億円は累計か。	<p>令和3年度末の市債は、前年比2.1%の増加、市債残高は約218億円となっています。</p> <p>なお、市当局では、令和4年度末の残高は、現時点においては減少すると見込んでいますが、今後、学校再編事業等の大規模事業が控えているため、限られた財源を最大限活用し、起債残高を抑制していく必要があると考えているということでした。</p>

○ワークショップ（住みたい、住み続けたいと思える魅力的なまちに必要なものは）について

ご質問	議会からの回答
ワークショップは色々な意見があり、面白いと思う。	<p>議会報告会の市民の皆さんとの意見交換会で、議員全員がテーブルに入って行うワークショップは初めての取り組みとなります。</p> <p>ワークショップ形式での意見交換会であれば、参加した方全員が意見を述べることができ、楽しい話し合いができます。お互いの意見を聴き、それらの意見を尊重しながら集約していくことで、当事者意識も生まれてきます。</p> <p>また、テーブル内だけではなく、会場全体で意見を共有していくことで、一体感が生まれ参加者同士のコミュニケーションが図られるといった利点があります。</p> <p>アンケート結果から、概ね参加いただいた皆さんから高評価を受けており、議員と市民の皆さんとの対話の場として、今後も定着させていきたいと考えております。</p> <p>ただ、かなりタイトスケジュールであり、もう少しゆっくりテーブル内での話し合いができるようにするなどいくつかの改善点はあるので、議会報告会全体の構成や開催時間について、今後、議会内で協議を進めていきたいと考えております。</p>

○相良牧之原インターチェンジ北側開発について

ご質問	議会からの回答
<p>高台開発で 300 億円の経済効果は、いつからいつまでの期間か。</p>	<p>東名相良牧之原 I C 北側地区の開発につきましては、市が令和元年に配置施設について 5 つのケースを想定し、経済波及効果を推計しています。</p> <p>商業施設、物流施設、住宅等の立地を想定したケースにおきましては、初期投資による市内の経済波及効果を約 300 億円、施設稼働後の毎年の市内における経済波及効果を約 130 億円と推計しています。</p> <p>なお、初期投資による経済波及効果は、すべての事業が実現した場合の用地整備費、建設投資額など、事業推進により一度だけ発生することを想定した初期投資額の総額に基づいて推計されたものです。</p>

○学校再編計画について

ご質問	議会からの回答
<p>学校再編後の跡地利用の考え方は。</p>	<p>学校再編後の既存学校施設の利活用につきましては、現在、市役所内に検討組織を立ち上げ、検討を進めているところです。</p> <p>跡地利用については、将来のまちづくりの方向性を定める重要な事項でありますので、地域の皆様の意見を十分聞き、地域と連携した有効的な利活用が図られるよう、住民の代表として、今後の協議の方向性を注視していきます。</p>

○防潮堤の整備について

ご質問	議会からの回答
<p>片浜地区の堤防が 30 センチ嵩上げされたが大丈夫か。</p>	<p>相良片浜海岸は、比較的発生頻度の高い津波（L 1 津波）への対策として、静岡県島田土木事務所の施工により、令和元年度より工事着手し、令和 3 年度にレベル 1 津</p>

波対策工事（堤防のかさ上げ）が完了しています。

千年から数千年に一度発生すると想定される最大クラス津波（L2津波）への対策につきましては、各市町において整備することとなっていますが、本市は15キロの海岸線を有しているため、限られた予算を有効に活用しながら整備していくことが求められています。